

田中康夫

今月の憂いゴト

『ラコリーナ近江八幡』から、
豊洲移転と築地の再開発、
東京都議会選挙から、
加計学園の問題追及まで。

滋賀県近江八幡市にある「たねや」の施設、
『ラコリーナ近江八幡』を訪れた田中・浅田両氏。
藤森照信設計のユニークな建物を見学した後、
本社が入る建物のテーブルで対談開始。
藤森建築のおもしろさを語り合いながら、
豊洲市場への移転と築地の再開発の矛盾や、
加計学園の追及の甘さについて厳しく論じた。

photographs by Hiroshi Takaka text by Kentaro Matsui

浅田彰

憂

憂国呆談

season 2 VOLUME 86

屋根には芝とキキョウの花が。目にもユニークな藤森建築。

浅田 今日滋賀県にある『たねや』の『ラコリーナ近江八幡』に来た。いわばお菓子のフード・パークだけど、藤森照信の設計で建物の屋根にも植物を植えた緑の丘になっている。屋根に植物を植える芝棟の伝統を復活したわけだけど、通路の屋根に一定間隔でキキョウが咲いてるところなんてなかなかいいね。

田中 藤森は1990年代に赤瀬川原平の家を設計し、そこでは屋根にニラを植えた。国分寺の自邸にはタンポポを植えるという変わった建物で知られている。

浅田 もともと建築史家で、丹下健三の本なんかも出してるんだけど、いわば歴史の根源に突き抜けるようにして、自然と一体の建築を設計し始めた。アヴァンギャルド(前衛)ならぬヤパンギャルドってわけ。

ただ、構造は鉄骨やコンクリートを使ってるんで、この春、水戸芸術館で開かれた藤森照信展に寄せた文章で磯崎新が言うように、「つくりもの」に過ぎないとも言える。しかし、能の舞台でも自然物を「つくりもの」で表すし、そもそも日本では都市も建築も「つくりもの」だった、と。あるいは、茶室をはじめとする数寄屋建築にも通ずるところがあるね。湯河原にある細川護熙元首相の「不東庵」って陶芸工房も彼の設計だけど、そこに急いで茶室をつくれっていう要請があった。ジャック・シラク仏大統領を迎えるためだったんだね。そもそも秀吉や利休の時代だって、大切な客のために茶室をつくってたわけで、簡素な草庵みたいでも、実は贅沢、維持も大変なんだよ。同様に、藤森建築も個人が住むにはけっこう

大変なんじゃないか。その点、『たねや』は社員総出で建築作業に加わり、棚田でコメ作りもしながら、新しい食のヴィジョンを膨らませてるわけで、藤森建築にとつては理想のクライアントかも。

田中 フランスのポンピドゥー・センター・メスをはじめとして、すべて木組みで造り上げる坂茂との微妙な違いだろうね。

浅田 坂茂は見かけより構造にこだわる建築家だからね。ともあれ、ここも最初は日建設計にマスタープランをつくらせてた。

その案が常套的で気に入らなかつた社長が最後の最後になってキャンセルし、藤森にすべてを託すことにした、その決断力は大したものだ。

それにひきかえ、東京都知事になった小池百合子は、築地市場を日建設計による豊洲市場に移転するの

のかしないのか決定を延ばしに延ばしたあげく、都議会議員選挙直前になって「築地は守る、豊洲を活かす」という

玉虫色の妥協案を発表。これじゃあ自民党お得意の「決められない政治」そのものじゃない?

田中 「私の心は築地にある」と言っていた知事が、百条委員会のパフォーマンスを延々と10か月間も続けて空転させた挙げ

句、豊洲「無害化」の約束を撤回して来年には市場移転を実施すると7月21日に発表。



でも5年後にはサンフランシスコのフィッシュマンズワーフに擬せて「食のテーマパーク」として築地も再開発するとあり得ない展開。何が「ワイズ・スペンディング(賢い支出)」だよ(笑)。豊洲移転を中止して現在地を耐震化したレンガ建てで再建するのが、我々が10年前から繰り返し述べていた築地フィッシュマンズワーフ構想言葉だけバクつても、いまだに運営事業者すら決まらぬ豊洲の千客万来施設は予定通りに開業するからバツティング。これで

「築地は守る、豊洲を生かす」

だなんてワースト・フーリッシュユ・スペンディングだよ。

サッカー解説者・松木安太郎の従兄で、築地のマダロ間屋3代目で豊洲移転推進派の生田興

克と、東京中央市場労働組合執行委員長で築地

残留派の中澤誠という両極の2人が、都議選直前の6月20日に小池が会見を開いた直後、「とんでもない。愚弄している」とツイ

ートして初めて意見が一致したのに象徴されている。会見を生中継したニコニコ生放送では約9割の視聴者が「まったく評価しない」。なのに、輿論ならぬセンチメンタルな世論は約5割が「評価する」と言っていて、洞察力のなさにお口アングリだ。東京大改革じゃなくて東京大改悪でしょ。

浅田 ただでさえ取扱高が年々減少するなかで豊洲と築地の両方ってのは無理。アマゾンの自然食品を中心とするホールフーズ・マーケットの買収に象徴されるとおり、今後はIT化も影響してくるだろうし。

田中 小池のブレン役を任ずる上山信一は京都の錦市場や大阪の黒門市場のようなイメージで築地再開発を語っているけど、錦や黒門の大きいのが豊洲移転後も存在する築地の場外市場だもの、ここでもバツティングする(苦笑)。場内・場外を一体化してデザインする我々のプランとは端から違う。場内は産地から運ばれてきたものを選び分けて、セリをして、そこが仲卸の市場。その仲卸は豊洲に移して、築地にも場内機能を設けるなんて、全然わかっていない。進駐軍のクリーニング工場が一時期あった築地も環境アセスメントが長引いて、5年どころか10年以上かかるかもしれない。その間、税金がダダ漏れしていくと。

一方で小池は、現在の築地を含めて東京都が設置している11か所の中央卸売市場を統廃合すると述べている。生花を扱う花卉市場は以前に三田の慶應義塾大学の正門脇にあったように、歴史的な経緯もあってどこの都市でも小振りで数が多い。大阪は、個人営業の2代目や3代目に店仕舞いさせて統廃合する仕掛けとして、鶴見緑地で1990年に国際花と緑の博覧会「花博」を開催した。ランの花を輸入する総合商社が花卉ビジネスに進出するきっかけにもなった。

築地、太田だけでなく、豊島、淀橋、足立、北足立、葛西、板橋、世田谷、多摩ニュータウン、そして品川駅東口に古くからある食肉市場と確かに数多い。豊洲・築地併存プランはここでも矛盾している訳だ。

地方公営企業法で規定された病院や鉄道、バス、電気、ガス等の事業を地方公共団体



が行う1つとして中央卸売市場会計が組まれている。この赤字破綻を先送りする方策として豊

洲移転が画策されて、よりによって、東京ガスが石炭を原料に1日200万トンもの都市ガスを20年も製造し続けた跡地に白羽の矢が立った。で、賛否両論で豊洲も築地も活かします、と玉虫色の方針で赤字は益々増大すると。都政の間を本当に暴くなら、市場会計を一度破綻させないと抜本的な解決につながらない。

他方で、水道事業を民営化、それも地域独占とはいえ日本企業が担う電気やガスと違って、フランスのヴェオリアに象徴される海外の水処理企業に任せる自治体が出てきている。原発が排出する放射性廃棄物の処理も手がけて日本市場に進出するヴェオリアは、世界中で約7500か所も浄水場や下水処理場を管理していて、少なからぬ国々の地域で水道料金が急騰して住民の不満と不安が高まっている実態がある。なのに、周回遅れで同じ轍を踏もうとする日本は、宇沢弘文が提唱した「社会的共通資本」の大切さを噛みしめるべきだ。まあ、築地のテーマパーク化は今からシャビーな代物になりそう、頭が痛いよ。

浅田 築地の再開発を藤森に任せるのは無理としても、松島や気仙沼の漁師といろいろやってきた石山修武あたりがラディカルなことをやればおもしろいかもしれないね。しかし、現状だと、両方を日建設的な案でやりつづけてジリ貧になるという最悪のパターンに陥る可能性が高い。
田中 まったくだ。オフィス街の建物に専

念してほしいね、日建設には。
東京都議会選挙で圧勝。「都ファ」のこれからは?

浅田 ところが、選挙では小池の率いる「都民ファーストの会」が大勝し、都政ではいち早く自民党を捨てて小池と組んだ公明党その他と合わせて、過半数の64議席を大きく超えた。他方、自民党は57議席から23議席へってという歴史的な大敗北。共産党が2議席増えて19議席になった一方、民進党も前回の15議席から5議席に減らした。自民党に象徴される旧体制に対するオルターナティブがないので、大阪で「維新の会」が勝ったように東京でも「都民ファーストの会」が勝ったってことかな。小池は橋下徹以上に右翼だけだ。
田中 共同通信の橋詰邦弘編集委員室長が

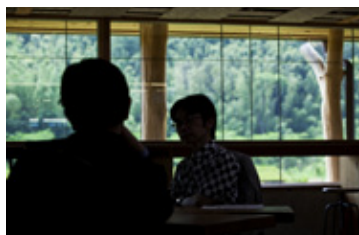


田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me

「タカ派路線をまい進する安倍政治によって一気に「右」に振れた民意が「真ん中寄り」に戻ったわけではない。同じ右側のゾーンに位置する別の勢力に移っただけ。政界は、依然として真ん中のスペースがぼつかりと空いたまま」と書いていた。

そうそう、選挙翌日に議員総会も開かず「都民ファーストの会」代表を野田数に替えたのは、不透明な小池ファーストの正体見たりだね。現在は都議ではない野田は知事特別秘書を務めていて、東京都庁から給料をもらっている地方公務員だよ。これぞ「三元代表制への懸念」そのもの。どちらが本業なの？
ありえないのは、この彼は都議時代の2012年に「国民民主権という傲慢な思想を直ちに廃棄すべき」「日本国憲法は無効で、大日本帝国憲法が現存する」と主張する請



願を提出して呆れられた人物。メディアの詰問に「今はそうした考えは封印した」と答えてい

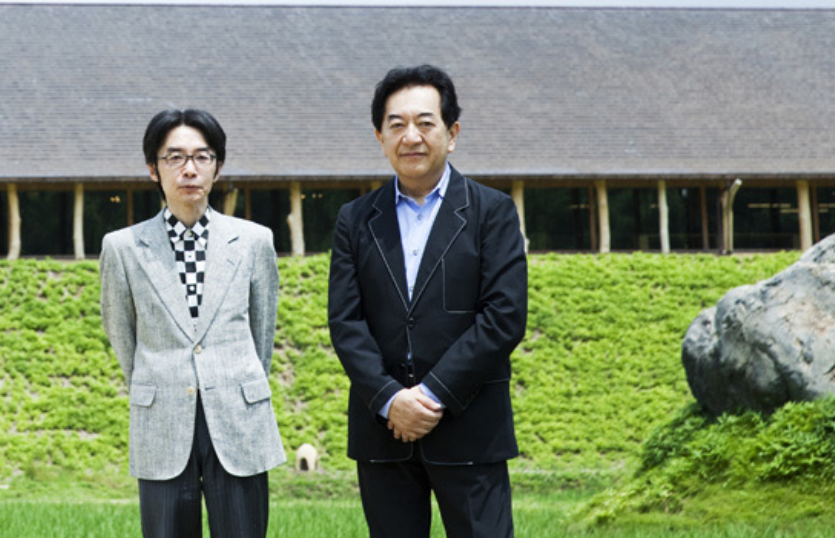
たけど、そうした思想は簡単には消し去れない。実は小池も2000年に衆院憲法審査会で「現行の憲法を停止・廃止」すべきと主張している核武装論者で、日本会議とも親密だからね。

選挙中に都ファと新聞が略号で書いていたので都ファースト↓都イチ↓都イチ、つまり豊洲・築地で税金を垂れ流して10日で利息1割の高利貸しと一緒だと眩くツイーが話題になったけど、就任1年で今後は具体的な決断と成果が都政に求められるから問題山積だ。次期総選挙で候補者を擁立するとしても、小池自身が1期目の途中で知事を辞めて国政に戻る訳にもいかないし、ファースト・フードと同じで都民ファーストでアツという間に消え去らないようにというツイートや、「ジェネリック（自民党）」という秀逸なネーミングも目にしたよ。

加計学園問題の追及と、大学無償化の必要性は?

浅田 それにしても、森友学園問題や加計学園問題で、右翼のお友達を優遇する安倍政権の体質が露呈され、前川喜平前・文部科学事務次官がその圧力で行政が歪められたと証言するや首相サイドが人格攻撃にまで踏み込む、さらに稲田朋美防衛相や金田勝年法相らが問題発言を繰り返して、安倍チルドレンの2回生議員たちもスキャンダルを連発するという醜態に、異様に高かった安倍晋三首相の支持率も調査によっては30

築地のテーマパーク化は今からシャビーな代物になりそう、頭が痛いよ。(田中)
あえて言えば、今の日本の大学は半分以下に淘汰する必要がある。(浅田)



パーセントを割るところまで急落。都議会議員選挙での自民党大敗の最大の原因もそれでしょう。第一期安倍政権末期と似た状況だね。むしろ、これまでが異常だった。安倍政権に首根っこを押さえられてたマス・メディアの責任も大きい。たとえばアメリカのマス・メディアは最初からトランプ政権を批判し続けてるのに。

田中 加計孝太郎理事長のところにも取材へ行ったらどうですか、と前川前・次官にも言われているのにまだに行かない記者クラブメディアは何なんだ。

浅田 同じ構図で、俺より桁違いに大きな金額が動いているのに、何で加計を国会に呼ばないんだと森友学園の籠池泰典前理事長も言ってる、それはそのとおり。

田中 首相も出席して衆参両院で閉会中審査が2日間行われたけど、うる覚えな自分の「記憶」で明確な議事録という「記録」を否定する山本幸三規制改革担当相も、あまたの「証拠」はあるのに自分の「記憶」が蘇らないらしい稲田も、醜態をさらし続けた。G20で首相不在時に開催の1回目の後、竹下亘国対委員長は「一点の曇りもないことが証明された」と、普義偉官房長官も「繰り返しの主張、質問が多かった」と語ったけど、幾度も尋ねてしまう生徒の我々がおバカなのか、要領を得ない答えしかできない教師がアホなのか、という関係は不幸だよ。正々堂々の横綱相撲を最高責任者の首相も含めて取らないと。



籠池元・理事
長は与党が証人
喚問したのに、
加計理事長の参
考人招致は今回
も拒否するとは、



国民の疑念が高まるばかりで逆効果でしょう。内閣不支持の理由が、個々の政策への賛否ではなく、首相や閣僚の人間性に疑問を抱くからという理由は根が深い。「民信なくば立たず」だよ。

浅田 安倍は、特区で風穴をあけて全国展開する、獣医学部も加計学園のみならずいくつもつくって強弁し始めた。確かに、鳥インフルエンザや狂牛病なんかの問題があるから、地方でそういう問題に対処するスペシャリストはもつと必要だけど、都会の動物病院は飽和状態。自治医科大学みたく、卒業後一定期間は田舎に行くことを義務付けるとかいうなら別だけど、たんに獣医学部を増やすだけでは、不均衡が大きくなるばかり。

田中 おっしゃるとおり。むしろ大学よりも介護や保育の学校を充実させるべき。も

浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。



つと言えば、現在約120万人の日本の18歳人口が20年後には3分の2の約80万人へと激減するんだ。全国に約800もある国公私立大学の枠を超えて統廃合する議論こそ行うべき。「改革派」の連中は規制緩和が大事だって言うけど、新規参入で価格競争と過重労働の末に事故が多発した貸切バス事業と違って、大学というのは開学後も私学助成金が毎年つぎ込まれるハコモノなわけで、だから既得権ビジネスになっちゃっているところが大きな問題。

浅田 大学教師でありながらあえて言えば、今の日本の大学は半分以下に淘汰する必要がある。それなしに、単に大学教育までを無償化するより、むしろ、保育所から中学校ぐらいまでの早期教育を、子育ても含めて全面的に支援するほうが重要だよ。あるいは、職業と直結した専門学校を多様化

し充実させるとかね。

田中 加計学園問題は、緩慢なる老衰に向かっている日本が、緩慢どころかサドンデスになってしまう危険性を象徴しているんだ。本来ならば、それは新自由主義の連中が最も唾棄して、こんな無駄金を使うなど言うべきことなのに、連中は擁護しているんだから世も末だ。

浅田 しかし、獣医学部の件と同様、安倍首相は憲法改正問題まで「来年には発議して2020年には施行する」なんて急い出してたんで、異常な感じはしたな。ともかく、今回の自民党大敗北で、そんなことは当分不可能になった。

しかし、繰り返せば、自民党に替わるまともなオルターナティブがないのが問題。「維新の会」に続いて「都民ファーストの会」が脚光を浴びてはいるものの、それは世界的に見ればアメリカのトランプ一派みたいなものだからね。

田中 まるで期待されていない民進党は、幹事長交代なんて中途半端な対応でなく、いっそ思いきって解党したほうが、身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあり」だけど、2009年の政権交代選挙と違って、次の「受け皿」が野党だけでなく与党内にも見当たらないと、世間が最初からあきらめムードなものも困ったもんだ。カナダ自由党のジャスティン・トルドーのような若手か、あるいはイギリス労働党のジェレミー・コービンのような年輩の新しいリーダーが、一ぼっかりと空いたままの真ん中のスペースに颯爽と躍り出てくる展開を望みたいところだけだね。

